

会報 「ナイ・ポの夢」

東区苗穂連合町内会だより

レインボーサマーフェスティバル 天候に恵まれ盛大に開催される

20回目の節目を迎えたレインボーサマーフェスティバル（苗穂連合町内会主催）が、8月1日、2日の両日にわたって苗穂グリーン公園（北8条東19丁目）で開催されました。このフェスティバルは、運営だけでなく、会場設営や撤収、出店の営業も地域の方々が行う手作りのお祭りです。開会式では、主催者である苗穂連合町内会の八田会長のあいさつの後、続いて登壇した宮浦東区長から「地域の皆様が主役の祭り。今後も地域力をまちづくりに生かしてほしい。」と評価していただきました。

今年のフェスティバルは、2日とも晴天に恵まれて多くの家族連れで賑わいました。会場には、中央に盆踊りのやぐらが陣取り、さらに特設ステージ、出店、休憩所、フリーマーケットなどのテントがずらりと立ち並びました。ステージでは、ミニ児童会館ダンスクラブのお友達のダンスや生バンドの演奏、老人クラブの方々の民謡、フラ教室の皆さんのフラダンス、カラオケ大会などが行われ、広場では、やぐらの上の太鼓に合わせて子ども盆踊りや大人盆踊り、常連となった YOSAKOI チーム「北海あほんだら」の勇壮な演舞も披露されるなど、盛りだくさんのプログラムに大人も子どもも大いに楽しみました。また、評判の味噌おでんや焼き鳥、焼きそば、トウキビ、かき氷など、たくさんメニューが用意された出店も大繁盛、焼き方や売り子役の地域の方々は、嬉しい悲鳴を上げていました。

すべてのプログラムが順調に進み、閉会式後の最後のイベントは「お楽しみ抽選会」、特賞の自転車の発表まで、当選者の名前が呼ばれるたびに大きな歓声が沸きあがり、夏まつりは大盛況のうちに幕を閉じました。足を運んでくださった皆さま、有難うございました。来年もお待ちしております。従事された皆さま、本当にお疲れさまでした。

東区苗穂連合町内会

発行責任者：八田力

事務所：東区苗穂町3丁目3-45

苗穂東まちづくりセンター内

TEL 742-4427

FAX 743-0922



苗穂連合町内会総会・交流会開催

平成27年度の苗穂連合町内会定期総会が、5月22日(金)に苗穂・本町地区センターで開催されました。議長に昇苗町内会の安保会長を選出した後、事務局から平成26年度の事業報告、収支決算報告、会計監査報告が行われました。続いて、平成27年度の事業計画案、収支予算案などが審議され、すべての案件が満場一致で承認されました。



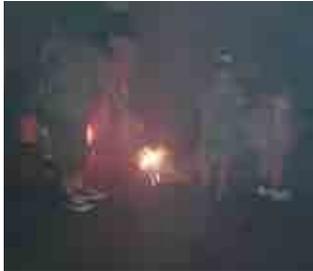
総会後に開催された交流会では、宮浦東区長をはじめ多くのご来賓と地域の方々が交流を深めました。また、交流会の中では、永年にわたって地域の奉仕活動に従事し、地域の発展に多大な功績を残された方々に対して、札幌市長感謝状(1名)、札幌市東区長感謝状(5名)、苗穂連合町内会長表彰状(3名)が贈呈されました。

キャンプまつり 楽しかったですね

7月25日(土)に苗穂グリーン公園で、キャンプまつり(苗穂連合町内会青少年育成部主催)が開催されました。昨年は、悪天候のため残念ながら中止になってしまったキャンプまつり、今年も時々雨が降るあいにくの天気でしたが、それでも夏休みの初日を楽しく過ごすことができました。

参加したのは小学生までの子ども41人とお手伝いの大人の方々です。午後4時30分から夕食の準備を開始、手分けをして敷物を敷いたり、コンロの炭火をおこしたり、野菜を切ったりしました。皆で力を合わせて準備したジンギスカンは、とっても美味でした。夕食の後は、ジュニアリーダーのお兄さんお姉さんと一緒にキャンプファイヤーを楽しみました。夏の夜の定番の花火が始まるころには雨もあがり、雲間から月が顔を出していました。

この後、3年生以上の子ども22人は、苗穂中央会館でお泊り会を楽しみました。



苗穂連合町内会が防犯功労団体表彰を受賞

7月22日(水)に苗穂連合町内会が、札幌地区防犯協会連合会から防犯功労団体として表彰されました。苗穂連合町内会では、安心安全、快適なまちづくりのために様々な活動を続けています。平成19年度からは、お年寄りや子どもたちなどの見守り活動に取り組んでおり、メンバーの方々も日常的に公園や通学路、ごみステーションなどのパトロールを行っています。このような地道な活動が評価されたものです。



あなたもパトロール隊員になって、地域の安心・安全を守るためにお力を貸していただけませんか。ご協力いただける方は、町内会長さんか、苗穂東まちづくりセンター(電話 742-4427)までご連絡ください。

続けていこう！交通事故死ゼロ

今年の道内の交通事故死者数が、8月15日に100人になったとの報道がありました。昨年より11日も早い到達のようです。65歳以上の高齢者が半数を占めており、北海道警察は、高齢者の対策に力を入れるとのこと。

苗穂東地区では、これまでも交通安全旗波作戦を展開するなど、交通安全運動には重点的に取り組んでおり、平成9年10月21日から交通死亡事故ゼロが続いていますが、引き続き、地に足のついた運動の展開が望まれます。幅広い「声かけ」を展開してはどうでしょうか。日常のあいさつでも交通安全を話題にして、交通事故を少なくしたいものです。



楽しい遊びがいっぱい！子育てサロン ナイポ

苗穂地区ふれあい子育てサロン・ナイポをご存知ですか。苗穂東地区福祉のまち推進センター（通称：苗穂福祉ふれあいテン）が毎月第1金曜日（1月のみ第2金曜日）の午前10時から午前11時30分までの間、苗穂中央会館（北6条東19丁目）で開催している子育てサロンです。会場では、たくさんの玩具や絵本と、子育て経験豊富なふれあいテンのスタッフ、保育士がお待ちしております。最近、毎月10組ほどの親子が訪れて、楽しいひと時を過ごしています。ママ友の輪もどんどん広がっていますよ。対象は、0歳から就学前のお子さんご家族です。どうぞ気軽に遊びにお越しください。

苗穂東地区には、このほかに、苗穂小学校ミニ児童会館（北9条東13丁目）を会場に、苗穂東地区民生委員・児童委員協議会が毎月第3金曜日（1月は第4金曜日、3月は第2金曜日）の午前10時から午前11時30分まで開催している苗穂地区子育てサロン「ホップ」や、苗穂児童会館（苗穂町5丁目）でNPO法人ころころぐーが毎週火・水・木曜日（祝日、小学校の春・夏・冬休み期間はお休み）の9時から12時まで開催している「ころころぐーin苗穂」もあります。こちらも、ぜひご利用ください。



ディーゼルカー振り子特急を開発・実用化した JR苗穂工場

苗穂東地区にJR苗穂工場があるのは、多くの方がご存知ですね。同工場は、国鉄時代から铸铁製の制輪子（せいりんし、ブレーキの意）を製造していましたが、昭和60年代からは、鉄道的高速化に備えて合金铸铁制輪子の研究やディーゼルカー（気動車）振り子特急の開発に取り組んでいました。

そして、平成6年3月、高運転台（たかうんてんだい）の281系振り子特急「スーパー北斗」が札幌～函館間の営業運転を開始したのを皮切りに、平成9年には札幌～釧路間に283系振り子特急が「スーパーおおぞら」の愛称でデビューしました。現在、ディーゼルカー振り子特急は、道内都市間の主役として4系統（スーパーおおぞら、スーパー宗谷、スーパーとかち、スーパー北斗）で活躍しています。産業のまちとして発展してきた苗穂を象徴する北海道遺産「札幌苗穂地区の工場・記念館群」のひとつ「北海道鉄道技術館」のあるJR苗穂工場は、北海道の振り子特急のふるさともあります。

（参考文献：朝日新書「線路にバスを走らせろ」）

